

第1学年 防災教育学習指導案

日 時 平成28年11月9日

学 級 1年3組（男12名 女16名 計28名）

指導者 小松 千佳子

- 1 題材名 「災害に備える」
- 2 資料名 「防災まちづくり・くにつくり」を考える p.2~11
- 3 ねらい 自然からの恵み・災害について理解させ、身近な地域で起こる恐れのある災害への備え（避難に必要なもの・避難場所等）を考えさせる。

4 題材設定の理由

(1) 価値について

防災教育のねらいは、『生きる力』をはぐくむ学校での安全教育」（文科省2010）に示した安全教育の目標に準じて、次のような3つにまとめられる。

ア 自然災害の現状、原因及び減災等について理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意思決定や行動選択ができるようにする。

イ 地震、台風の発生などに伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができるようにする。

ウ 自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全活動に進んで参加・協力し、貢献できるようにする。

そこで、本校では、「いわての復興教育」における3つの価値項目と具体の21項目を年間指導計画に位置付け、さらに釜石の教育（いのちの教育）の目標をもとに、1学年においては東日本大震災津波の様子と被害の状況を知り、学校・家庭・地域での日頃の備えを考えさせ、災害時に対応できる力をつけさせたいと考えた。

(2) 生徒について

今回の授業を行うにあたって、防災に関するアンケートを行った。結果は以下の通りである。

表1 アンケート結果（10月3日 27名実施）

	質 問	はい	いいえ	わからない
1	あなたは自分が住んでいる地域の避難場所知っていますか。	21	6	
2	今まで地域の避難場所に避難したことがありますか。	3	24	
3	あなたは自宅から避難場所への避難経路知っていますか。	12	15	
4	災害が起こった時、家族で集合する場所を知っていますか。	8	19	
5	災害に備えて、日頃から食料品や生活必需品などをそろえていますか。	1	4	22
6	家族で災害に備えて、確認している事や話しあっていることがあれば書いてください。	・「つなみてんでんこ」を守る ・八雲神社に逃げる ・甲子中に逃げる ・保育園の子と一緒に逃げた後弟という ・大切なものはすぐもっていけるようにしておく		

東日本大震災から5年が経過した。生徒は、日常を取り戻し明るく学校生活を送っている。釜石市内3校の小学校に加え被災地域の学校から入学している生徒がおり、実際に津波を経験し被災した生徒とそうでない生徒がいるため、防災に対する意識に温度差はあるものの防災学習に真剣に取り組んでいる。事前に実施したアンケートでは、78%の生徒が避難場所を知っているが、実際に避難した経験のある生徒は11%であった。また、災害に備えて日頃から食料品や生活必需品を準備している生徒はわずか4%で、15%の生徒は備えていない、また81%の生徒はわからないと答えた。アンケートから、実際に避難した経験のある生徒や災害に備えて普段から備蓄品を準備している家庭が少ないことが分かった。自然災害が発生しているこの地域に住む生徒たちに、災害時に自ら考え、主体的に判断し、行動する力を身につけてほしいと願っている。防災教育を通して災害に対する意識を高め、生徒一人ひとりに自分や家族など大切な人の命を守る姿勢を身につけさせたい。

(3) 資料について

自然災害にはどのようなものがあるか、また、その災害に伴う被害について理解させ、生徒自身がどう行動すべきか考えることができる。

(4) 研究主題との関わり

研究主題「自己肯定感をもち、復興に貢献しようとする生徒の育成」

～いのちを大切にし、郷土を理解する活動を通して～

自然災害の発生のメカニズムや被害の実態、災害時の適切な行動を理解させることにより自他の命を大切にす態度を育み、自己肯定感を高める。

(5) 単元目標

自然災害について理解し、身近な地域で起こる恐れのある災害への備えについて、自ら課題を見つけ、自ら学び、主体的に判断し、行動する力を身につける。

(身につけさせたい資質や能力)

〈学習への主体的・創造的な態度〉

- ・自然災害について関心をもち、災害対策について意欲的に考える。

〈課題設定の能力〉

- ・身近な地域で起こる恐れのある災害を知り、災害に備える方法を考える。

〈問題解決への思考・判断〉

- ・資料から自然災害の発生メカニズムや被害の実態、適切な行動を考える。
- ・災害時にもち出すものについて考え、その必要性について説明する。

〈学習活動に関わる技能・表現〉

- ・災害への備え（避難に必要なものや避難場所等）について発表・表現する。

5 指導計画 (総合的な学習の時間)

	授業内容	具体の 21 項目・副読本との関連
第 1 時	東日本大震災津波の様子と被害の状況 自然災害のしくみと被害	⑮東日本大震災津波の様子と被害の状況 「いきる・かかわる・そなえる」 p 48,49 自然災害のしくみと被害 「いきる・かかわる・そなえる」 p 52～57
第 2 時	自然からの恵み・災害について (避難場所学習①ハザードマップ)	⑳「防災まちづくり・くにづくり」学習ワークブック p 2～11
第 3 時 (本時)	災害に備える (避難の際必要なもの、避難場所②)	⑳「防災まちづくり・くにづくり」学習ワークブック p 2～11
第 4 時	My 防災 book 作成	⑳「いきる・かかわる・そなえる」 p.64,65

6 本時の指導

(1) 本時の目標

- ・身近な地域で起こりうる自然災害の対策について考えたり、調べたりして、災害対策への理解を深める。

(2) 本時の評価規準

身につけさせたい資質や能力	評価規準
学習活動への主体的・創造的な態度	自然災害について関心をもち、災害対策について意欲的に考えたり調べたりしている。
問題解決への思考・判断	災害時にもち出すものについて考え、その必要性について説明することができる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 (5分)	0 学習への雰囲気づくり 1 本時の課題設定	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の授業をふり返り、自然災害について考える雰囲気をつくる。 ・避難場所を確認する。 ・自然災害への備えについて考えることを提示する。 	
緊急時に何をもっていか考えよう。			
展開 (35分)	2 課題の追求 災害にどのような備えが必要かを考える。 (目に見えるもの)	<ul style="list-style-type: none"> ・避難に必要なものを考えさせる (個人)。 ・避難に必要なものを考えさせる (グループ)。 ・グループ内で意見交換をさせる。 ・グループごとに発表させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄品リスト ○自然災害について関心を持ち、災害対策について意欲的に考えたり調べたりしている。 【学習活動への主体的・創造的な態度】 ・グループワーク (4～5人) ・ワークシート
	3 課題の解決 他者の発表を聞き、再考する。	<ul style="list-style-type: none"> ・グループの発表を聞き、各グループに共通しているものとそうでないものを比べ、その必要性について再度考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループから発表 ○災害時にもち出すものについて考え、その必要性について説明することができる。【問題解決への思考・判断】
	4 防災グッズを紹介する	<ul style="list-style-type: none"> ・各防災グッズの必要性を確認する。 	
終末 (10分)	5 まとめ 6 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・今日の学習でわかったことや感想を書かせる。 ・次回の時期と内容を予告する。 ・家族と緊急時の連絡先や避難場所を確認してくることを指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・内容： My 防災 book 作り

緊急時に何をもっていくか考えよう

1年 組 名前 _____

1. 災害が起きたらどんなことが起こるだろう。

--

2. 避難をするときに、5つだけもっていけるとしたら？

①自分の考えを書こう。

	もっていくもの	理由
1		
2		
3		
4		
5		

②自分の意見を伝え、グループの中でもっていくものを5つ決めよう。

()班

	もっていくもの	理由
1		
2		
3		
4		
5		

3. グループ内で話し合ったことを発表しよう。

